

会場 2-5 【長野県】高山村立高山中学校 発表を見た方からの感想

- 学校の給食は現在とても社会問題になっている話題です。給食費の予算が、物価の上昇に追いつかず、給食センターの方々が日々考えてくださっているそうです。そのような社会課題を取り上げることで、より多くの方に学校給食の素晴らしさ、給食センターの方の苦勞がねぎらわれればなあと思いました。また、箱ひげ図など他教科で学んだ知識を活用していて、実際に学んだ知識を使ってみると、学んだ甲斐を感じることができたのではないかと思います。
- 給食の便りの中にあるクイズで食育を学ぶことをしているのはすごいことだなと感じました。ジャガイモやカボチャ、お米の観点から環境の負荷を考え、改善しようとしたことが聞いていて伝わってきました。地産地消は環境負荷などのたくさんの工夫をして、SDGsに関わっているということが発表を聞いてわかりました。これからも食品ロスの活動を頑張ってください！応援しています。
- フードマイレージに換算してより視覚的に説明することで小学生にもわかりやすいと思った。食育には様々な分野があるので色々調べて自分の目で見て多くの経験を増やして欲しい。
- 地産地消することによって、二酸化炭素の排出量を抑えていることが出来てSDGsの「気候変動への対策」を達成できると感じました。また、地産地消について数学や社会といった他教科の知識を用いることによって、教科横断型の学習で深い学びだと思いました。
- 発表ありがとうございました。地産地消に焦点を当て食育について広い視点からの気づきや学びに繋がっていたと感じました。〇〇円減ったなどの具体的な数値があったことでより身近に捉えることができました。食育には他にもさまざまな視点があると思うので、今後も考えを深めて欲しいと思います。
- 具体的な数値やグラフを用いた比較をすることで、地産地消をすることのメリットがとても分かりやすくまとめられていたと思います。また、食品ロスを防ぐために、欠席者に合わせてお米を使用する量やエネルギーを抑えたという行動だけでなく、損失を確実に防いだというその結果が明らかになることで、より自分たちの行動の意味を感じやすくなり、次の行動への意識を持ちやすくなると思いました。
- 自分たちの学校給食で使用されている食材から、フードマイレージや二酸化炭素排出量の問題点を発見し、環境や食材について理解を深められているところが素晴らしいと思いました。また、今回の学習を通して食の大切さや地産地消の工夫を学ぶことができたと思うので、これからもその点を意識して欲しいと思いました。
- 高山村立高山中学校のみなさん、素敵な発表ありがとうございました。普段、当たり前のように食べている給食ですが、給食の食材が手元に来るまでに様々な人がいることや、お金がかかっていることに気づき、地産地消を進めていくことの大切さに気づくことができた学習だったと思います。また、食材を作っている農家さんなどへの感謝の気持ちを忘れないということも素敵だと思います。これから、地産地消を各地で行なう為にはどのようなことができるか？などと視点を高山村から日本へと広げていくこ

とで、皆さんのこれまでの学びがさらに深まっていきそうだと思います。

- 素敵な発表、ありがとうございました。食育の6つの視点から、給食を通して地域の農産物のことについてや、地球環境について考えを広げている点が良いなと思いました。データの見せ方を箱ひげ図など伝わりやすい形に工夫している点も、分かりやすく良かったと思います。給食を通して、その給食の費用や二酸化炭素排出量はどのくらいなのか調べ、給食に対する意識が変容していく姿を感じました。
- 素敵な発表ありがとうございました。フードマイレージやCO₂排出量についての数値を比較分析する活動を通して、地産地消についての理解やフードロスに向けた日々の取り組みと食材を提供してくださる方々へ感謝する気持ちの大切さに気付く姿が魅力的でした。中でも、数値として表すだけでなく、箱ひげ図を用いて数値を整理することを通して地産地消に向けた取り組みの重要性を見出すことができましたね。日本ではフードロスは大きな問題になっていますが、環境負荷の削減に向けて、高山村だけでなく長野県や日本でも地産地消を進めていくためにどんな工夫ができるのかについて考えていくと、今回の活動がもっと大きく環境負荷を減らすことに貢献していくかもしれませんね。
- 産地からの距離とコスト、二酸化炭素排出量を出すことよりフードマイレージを算出し月ごとの比較をしているのが驚きました。そこから給食という観点で考察し、フードロス削減のために何ができるのか数値を基に明確にまとめられていると思います。これらを基に、実生活でどのような行動ができるのか考えていたので素晴らしいですね。
- 発表ありがとうございました。今まで地産地消は良いものだと思っていたのですが、皆さんのじゃがいものコストで実際に高山村と長崎県のじゃがいもを比較して数値化したデータを見たことでなぜ地産地消という言葉が良いと言われているのかを目に見えて理解することができました。このように思っていたことを実際に客観的に数値化して分析することは他のことにも応用できると思います。
- 地産地消についてや、食育について自分たちで活動し調べまとめるという活動はとても素晴らしいと思いました。また学校給食は環境への負荷を考えたうえで作られていることを理解したことや農家の方や給食を作ってくれる方への感謝の気持ちを忘れないということはこれからも非常に大切にしていってほしいと思います。
- 手書きでの発表がとても印象的でした。デジタル化が進んでいる今、このように手書きで書くことの重要性に気づかされた気がします。とても暖かさを感じるのでいいですね。様々な計算を行うことで、普段の学習と今回の学習の結びつきが感じられてとてもいいと思いました。また、グラフにも表していてとても分かりやすかったです。
- 食にフォーカスを当て、フードマイレージについて考えていました。フードマイレージはほとんどの人が知らないもので、触れる機会が少ないと思います。ですが、その求め方や求めた値を比較することで、なにが大切で、どのような利点があるのか、より明確にできると感じました。四分位数についても触れられており、私としてはとても分かりやすくなりました。ですが、他の中学生が一度聞いて簡単に理解できるとは限らないと思うので、もし中学生に発表をするときはより細かく解説することが必要だ

と感じました。本当に発展的な活動で、困難なことも多かったと思いますが、とてもいい発表でした。

- フードマイレージという単語は社会科で習うとは思いますがそれを実際に計算する機会はなかなか貴重だと思います。またそれを箱ひげ図などを用いて客観的なデータで表すことで根拠が強く今後の勉強にも非常に生きてくると思います。給食は小中学校までというパターンが多いと思うのでその価値に改めて気づくことができたのは非常に良かったのではないかと思います。
- グラフや関数などを使って具体的に食品ロスについて調べたり、取り組んでいたりするところが、説得力があってよかったです。残滓の量を減らすというのは、一番手軽に取り組んでいける SDGs のひとつなので、続けていってほしいと思います。これからも頑張ってください！
- フードマイレージや食品ロスなどの計算・統計を通して、地域や環境問題に目を向けつつ自分たちの数学の学びを深めることができる活動になっていて、とても理想的な学習活動だと感じました。具体的な数値をだして物事をとらえることで、食への感謝や環境への負荷が実感しやすくなるということをこの発表から学ばせていただきました。
- 改めてフードマイレージを考えた地産地消の大切さを知ることができました。他の場所や時期などとの比較があり、違いがよく分かりました。特に実際のデータや計算した数値がたくさん出てきたので、より具体性があり良かったと思います。また給食を欠席者の分だけ減らす取り組みは、私が給食を食べていた時代には、あってほしかったけれどもなかった取り組みだったので、うれしく思います。学校でできない地産地消の取り組みなどをこれからも考えていってほしいです。
- 給食にかかわる様々な点を数値に基づきながら分析されていて、とても説得力のある発表だと感じました。地産地消の利点を輸送費用や二酸化炭素の排出量から考察され、残滓を処理するために必要なエネルギーを計算し、残滓を減らすように努力されていて素晴らしいと思いました。
- 特徴的だったのは、実態を数字や図表で示していたことです。具体的な数値や計算式を調べており、それを箱ひげ図などで表現していました。その結果、食品ロスの問題はどれだけ深刻なのか、どこが問題なのかがとても分かりやすくなっていました。内容を手書きでまとめたことも印象に残りました。
- 地域の食材を使うことは環境を守ることにつながるだけではなく、地域の農家さんの助けにもなると感じました。具体的なデータを使ってとても説得力がありました。また、これは全国でも行えそうなので良いモデルになると感じました。
- 食品ロス、地産地消という私たち人間が必ず行う食事という行為についての取り組みは身近なところから SDGs に関する活動を行うことができ家庭などで実践しやすい取り組みであると感じました。また細かくフードマイレージなどの計算から数字を出し数値化することで誰でもわかるようにできる取り組みは非常に素晴らしいと感じました。